

令和元年度(2019年度)

管理事業名	地域・青少年教育事業				総合計画の体系	大綱 4 政策 3 施策 1	子育て・学び 青少年がすこやかに育つまちづくり 青少年の健全育成
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 2	青少年教育費
部局名	地域教育部	予算執行所属	まなびの支援課・青少年室				
予算大事業名 一般事務事業 地域・青少年教育事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)社会教育総務費 一般事務事業 (款)教育費(項)社会教育費(目)社会教育総務費 地域・青少年教育事業						
<b>事業の目的と概要</b> 青少年の豊かな人間性や社会性を育むため、自然活動など様々な体験や学習の機会を提供し、青少年の主体的な取組みを支援します。青少年団体、青少年指導者を対象に、技術や知識の向上につながる研修会や講習会を実施し、地域での青少年活動の活性化を図ります。青少年を様々な誘惑や犯罪から守るため、有害環境の把握や問題行動・非行の防止に向けた地域ぐるみの取組みを進めます。不登校、引きこもりなど、様々な課題を抱える青少年を対象に、さわやか元気キャンプを実施し、自然体験活動、生活体験を通じて、「生きる力」を自ら育むことを目指します。青少年が健やかに安心して安全に地域で活動できるよう、仲間づくりや居場所づくりを進めます。青少年問題の総合的施策の樹立についての調査審議およびその施策を実施するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を行います。各小学校区で組織されている見まもり隊にキャップや腕章などの消耗品を支給して、通学路の安全確保のための見まもり活動を支援します。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
さわやか元気キャンプ参加者数	人	39	30	15	海の学校、山の学校参加者数
青少年指導者講習会参加者数	人	268	212	206	青少年指導者講習会の参加者数
消耗品支給小学校区数	校区	35	35	34	こども110番見まもり活動に係る消耗品を支援した小学校区数
成果の説明	こども会スポーツ大会、吹田青少年野外コンサート、成人祭、子供文化鑑賞事業など、青少年育成のための各種事業を青少年関係団体等の協力を得て開催することにより、青少年の健全育成に対する啓発とその活動への参加を促進しました。ヤングフェスティバルについては、文化会館の改修工事等で会場の確保ができなかった事により実施できませんでした。 野外活動、ゲームソング、レクリエーションなどの体験を通じて、青少年リーダーとなるきっかけづくりとして、青少年リーダー講習会を開催しました。また、青少年に関わる地域のボランティアの方々を対象に青少年指導者講習会を開催し、知識や技能の向上、地域の健全育成の取組について充実を図りました。 11月の「子供・若者育成支援強調月間」に青少年関係団体を中心となり、テラス等による啓発活動や「全市一斉合同パトロール」等に取組むことで、青少年が健全に成長できる社会環境づくりを推進しました。 教育センターや各学校と連携してさわやか元気キャンプ(冬のスキー)を実施し、自然体験や生活体験を通じて、自立を支援しました。 キャップや腕章などの消耗品の補充調査を行い、希望する見まもり隊に支給することで、見まもり活動の継続と充実には貢献しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	3,454	3,281	-	△3,281
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	54	54	65	11
経常収入 小計(a)	3,508	3,335	65	△3,270
給与関係費	105,034	104,663	109,620	4,957
物件費	32,113	30,486	19,612	△10,874
維持補修費	22	-	-	-
社会保障扶助費	-	54	12	△42
負担金・補助金・交付金等	17,098	16,550	16,192	△359
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,858	5,943	7,790	1,847
退職手当引当金繰入額	5,526	4,650	△17,341	△21,991
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	165,651	162,346	135,884	△26,462
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△162,143	△159,011	△135,819	23,191
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△162,143	△159,011	△135,819	23,191
一般財源充当額	162,834	160,738	161,667	928
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	691	1,728	25,847	24,120

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	成人祭事業委託料 3,744千円
負担金・補助金・交付金等	青少年対策委員会事業補助金 14,995千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,508	3,335	65	△3,270
行政サービス活動支出	166,343	164,074	161,732	△2,342
行政サービス活動収支差額	△162,834	△160,738	△161,667	△928
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△162,834	△160,738	△161,667	△928
一般財源充当額	162,834	160,738	161,667	928
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 雇用保険料及び電子複写機使用料 65千円
--------------	--------------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
青少年1人あたりのコスト	平成29年度	109,400 人	1,514 円	青少年1人あたり 1,229円のコストがかかっています。(対象:0~29歳)
	平成30年度	109,600 人	1,481 円	
	令和元年度	110,596 人	1,229 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,943	7,790	1,847
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,943	7,790	1,847
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	0	0	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	61,597	73,324	11,727
建物・工作物	0	0	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	61,597	73,324	11,727
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	67,540	81,114	13,574
建物・工作物	-	-	-	純資産	△67,540	△79,184	△11,644
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	1,800	1,800
重要物品	-	1,800	1,800	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	130	130
投資その他の資産	-	130	130	出資金	-	130	130
出資金	-	130	130	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	△67,540	△79,184	△11,644
資産の部合計	0	1,930	1,930	負債及び純資産の部合計	0	1,930	1,930

Ⅲ 財務構造分析

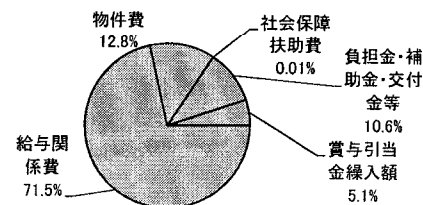
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等
	月平均	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数
	11.78 人	1 人	1 人	919 日	184 人
給与関係費等	77,797 千円	3,630 千円	3,630 千円	8,267 千円	10,374 千円
内、時間外勤務手当	3,165 千円				
					合計(千円) 100,069

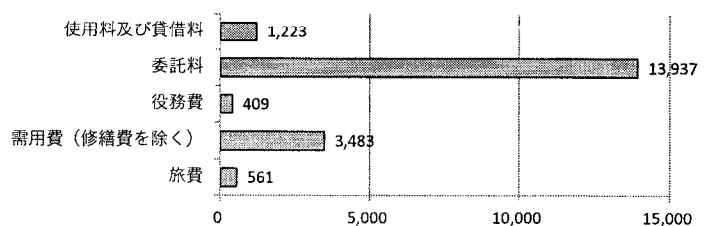
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
重要物品	絵画1点

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)		
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B
受益者負担比率		-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		97.9	98.0	100.0
				2.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費109,620千円(71.5%)、物件費19,612千円(12.8%)、負担金・補助金・交付金等16,192千円(10.6%)となっています。

物件費の内訳は、主に委託料13,937千円、需用費 3,483千円です。

負担金・補助金・交付金等のうち、14,995千円が青少年対策委員会が実施する地区青少年健全育成事業への補助金です。

経常収入の内訳は、非常勤職員及び臨時雇用員に係る雇用保険料及び電子複写機使用料です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

青少年育成団体と連携して、青少年野外コンサート、こども会スポーツ大会等を開催し、文化・スポーツ・レクリエーション活動等を通じて、青少年の健全育成に努めます。

指導者養成事業では引き続き、講座内容・開催日等について吟味し、楽しく参加でき、魅力ある講習会の実施を目指します。

青少年の健全育成を支援するため、「子供・若者育成支援強調月間」の取組の一層の充実と定着を進めます。

さわやか元気キャンプの実施に当たっては、学校や教育センターとの連携のほか、青少年活動サポートプラザの青少年相談事業との連携などをさらに進めます。

学識経験者、公共的団体等の代表者、市民等で構成する委員が、総合的な青少年施策について調査審議しています。本市では、引きこもりや非行などを含めた課題を抱える青少年を支援するため、子ども若者育成支援推進法の基づく「吹田市子ども・若者支援地域協議会」を平成28年度に設置しました。今後は、子ども・若者支援地域協議会との連携を含め、本協議会の在り方を検討していく必要があります。

見まもり活動に係る消耗品を各小学校区17,500円以内で支給することにより、活動の継続と充実を支援することで、子供の安全確保に寄与する事業であり、今後も継続すべき事業です。